

地域おこし協力隊ってどんな仕事をしているの？

- Q1. どこの地域から移住してきたのですか？ Q3. 仕事の内容はどんなことをしているのですか？
 Q2. なぜこの地域を選んだのですか？ Q4. おこし協力隊の任期を終えたらどんな活動をしたいですか？
 Q5. コラムを読んでいる方へ一言お願いします。

釧路市

- A1. 愛媛県の松山市です。出身は岩手県です。
 A2. 若い頃から理想の居住場所を求めて、国内外を旅していました。その中で、豊かな食と自然に囲まれた暮らしが一番理想的だと思い、釧路市に移住を決めました。
 A3. 阿寒湖温泉にある「まりむ館」で観光案内をしています。外国人観光客が安心して北海道旅行ができるように、管内だけでなく道東や札幌のなどの観光情報を提供しています。丹頂を求めて釧路に来られる方が多いので、丹頂が見られる場所がわかるマップを作成し、鶴居村から逆オファーが来るくらい良いものが出来ました！
 A4. 全国通訳案内士の資格を活かして、国内外から釧路を訪れる人たちに対して自然ガイドをしたいと考えています。
 A5. 単純に「北海道が好きだ」という理由で移住し、豊かな食や自然に囲まれ、幸せに暮らしています。



釧路市地域おこし協力隊(H30～)
笹崎 浩丸

白糠町



白糠町地域おこし協力隊(R1～)
北田 純子

- A1. 千葉県です。キャンプで北海道を訪れた際に白糠町へは一度来たことがあります。
 A2. タイミングです。他にも移住のお願いを頂きましたが、白糠町が一番スピーディーに決まりました。面談は白糠町長とも行いましたよ。
 A3. 観光PRやSNS発信です。道外で開催している新規就農イベントにも参加しました。白糠町の土地は農業を散布していない土地が多く、オーガニックの畑作に適しています！
 A4. 雇用されない働き方をしたい。白糠地元食材を食べ歩きできる場所があるといいなあと思ひ、町で飲食店経営などを考えています。
 A5. 夏がとにかく快適！冬は雪が少ないです。暑い夏が恋しくなったら、帯広市へ遊びに行くことも。白糠町は釧路と帯広の中間地点なのでアクセスが良いですよ。

鶴居村

- A1. 滋賀県です。出身は沖縄県です。移住するまで北海道へは来たことがありませんでした。
 A2. 寒さと雪を求めて北海道のイメージが凝縮している道東が良いなと思ひ、その時募集のあった鶴居村を選びました。
 A3. 観光協会で、地元のおまつりの手伝い等行っています。冬は役場前に雪山の滑り台を制作も行いますよ。
 A4. 夜にお酒を飲むことのできる場をつくりたいと考えています。土地も安く、開業しやすい。夏場はライブも多いため、みんなが集うことのできる拠点があったらいいなと思っています。鶴居村産ブドウを使用したワインも提供できたらいいですね。沖縄県のお酒も置いて鶴居村と沖縄県が繋がったら…夢は広がります！
 A5. 少し歩けば森や山がある暮らしです。人口密度が低く、人との距離が大切です。



鶴居村地域おこし協力隊(H30～)
幸地 真



弟子屈町



弟子屈町地域おこし協力隊(H30~)

吉田 祥子

- A1. 福岡県出身で、東京の大学に通っていましたが、2年生の時に北海道に住みたいと漠然と思いました。
- A2. 北海道に住みたいと思いついてから移住について調べたところ、おこし協力隊の制度を知り、自分の趣味である登山が業務内容に含まれていた弟子屈町を選びました。
- A3. 登山ルートの開拓やガイドブック作成をしています。あまり知られていませんが、弟子屈町には滝が2つあり、これを活用した観光も考えています。
- A4. 町の人とも仲良くなり、このまま弟子屈町に住み続けたいです。町を挙げて川湯地区を盛り上げようというムードがあるので、川湯地区でゲトハウス等ができたらいいなあと考えています。
- A5. とりあえずあえず、来てみてください！来たなら伝えたいことがわかってもらえるはず♪

標茶町



標茶町地域おこし協力隊(H30~)

小濱 真人

- A1. 千葉県館山市です。オーシャンビューの一軒家を建てた直後に、標茶町への移住を決意しました。付いてきてくれた奥さんには頭が上がりません(笑)
- A2. 大の動物好きで、北海道で馬に関わる仕事がしたいと思っていたところ、馬を活用したまちづくりに取り組む標茶町に魅力を感じました。
- A3. 町内のセントラル牧場で学びながら、馬を核とした新しい観光メニューの開発や、競走馬を引退した馬を受け入れて、その馬のファンを町に呼び込み、移住につながる取組をしています。馬も人も幸せに暮らせるまちづくりを手がけたいという強い思いがあります。
- A4. 自分の牧場を持って、北海道の開拓に大きく貢献した北海道和種馬「どさんこ」を守り、たくさんの人に「どさんこ」の魅力を伝えていきたいです！
- A5. 念願が叶い、毎日大好きな動物とふれあえる暮らしを送っています。

浜中町

- A1. 東京都です。浜中町へは一度就農体験で訪れたことがありました。
- A2. 東京に息苦しさを感じており、1次産業に関わりたと思っていました。高い建物に囲まれず、空を広く感じた浜中町を選びました。
- A3. 移住・定住のパンフレット制作をしています。町内のイベントにも積極的に参加していますよ。
- A4. 何もないからこそ、色んなことへの可能性を感じています。町民はスポーツが好きなので、以前スポーツジムのトレーナーをしていた経験を活かすこともできるだろうし、浜中町で自分の力を試したいと思っています。
- A5. 浜中町へ来て気持ちが豊かになりました。自分でやりたいと思ったことを自分で創っていける！地域おこし協力隊は可能性に満ちあふれています！



浜中町地域おこし協力隊(R1~)

小山 勇太郎

厚岸町



厚岸町地域おこし協力隊(R1~)

百海 琢司

- A1. 岐阜県です。
- A2. 以前、公園の管理や造園をする仕事をしていました。40年近く厚岸町の桜を守ってきた管理人さんの後継者を厚岸町で探していたので、ぜひ引き継ぎたいと思って決めました。
- A3. 木の剪定作業やメンテナンス等を行っています。
- A4. 厚岸町を桜で盛り上げていけるよう、この桜を守ります。剪定により伐採した枝を利用した商品の開発等もできたらいいですね。
- A5. おこし協力隊になろうと思っている方はやりたいことをもってきてほしいと思います。地域の人と協力して、地域に溶け込み仕事をするのできつとうまくいきます。でも、何よりも大切なことは「地元の人々の思いを大切にすること」だと思いますよ。